

お〜い	平成25年	135
	月刊	2月号
発行	「お〜い」編集委員会	
	品川区西大井 4-1-8	
	大井第三地域センター内 ☎ 3773-2000	

♪ 幼稚園・保育園めぐり ♪

みなさん こんにちは！わたくしたちは、社会福祉法人こうほうえんキッズタウンにしおおいと申します。平成21年3月、元原小学校の跡地に複合型施設を開設しました。1階が保育園と地域の高齢者利用施設(無料)のいきいきセンター、2階・3階が高齢者の住居施設となっています。

キッズタウンにしおおい

＊ 保育園の特徴

- ・開園時間は午前6時30分～午後9時までと幅広い時間設定に取り組んでいます。
- ・利用者の立場に立って、サービスの提供を考えています。保育は予想ができない突発的な事や要求、行動が起こりやすいがどんな要求に対しても臨機応変に叡智を絞って、その子のために、その保護者のためにどうすればよいか、柔軟に考えて対応しています。例えば、突然の延長保育の申し入れや病後、体調不良時(下痢・蕁麻疹・口内炎など)の食事対応、園独自の年末保育等。
- ・地域の子ども(未就園児)の発達と保護者の養育支援の為の場の提供(ケンケンひろば)
- ・世代間交流(高齢者との交流)がいつでも出来ます。
- ・4・5歳児による鼓笛隊は、地域の行事等に参加し喜ばれています。いつでも遊びに来て下さい。お待ちしております。(キッズタウンにしおおい園長 高橋裕子 記)



ば、突然の延長保育の申し入れや病後、体調不良時(下痢・蕁麻疹・口内炎など)の食事対応、園独自の年末保育等。

第13回品川区中学生の主張大会

平成24年12月8日(土)、荏原文化センターにおいて行われました。富士見台中学校からは、9年生の菅谷日南子さんが出場し、昨年に引き続き第2位に当たる優秀賞を頂くことができました。

演題は『出会い人は変える』。中学校に入ってから3つの大きな出会いが、いかに自分を作ってくれたのかを感謝を込めて語りました。実感を伴った主張は力強く、大変立派でした。富士見祭の後で、原稿は何度も書き直し、全てを頭の中に入れるまで練習し、話し方も格段に上手になりました。



前日には、8年生の市民科の授業に参加して発表練習の仕上げをしました。後輩を前に緊張の極みでしたが、その甲斐あってか本番はとても落ち着いて、誠実で前向きな菅谷さんらしい素晴らしい発表になりました。この大会の経験も一つの出会いとして大切にしてほしいです。(富士見台中学校主任教諭 宮本由里子 記)

伊藤学園を代表して、9年生の石井花歩さんが出場しました。発表の演題は「『自立』について」です。石井さんは「自立」を、「自分で全てを行うのではなく、判断を自分の責任で行うこと」と定義づけました。そして中学生として今の自分たちにできること、できるようになるべきことについて主張しました。「判断するのは他の誰でもない、自分なのです」と、凜とした口調で語る姿が印象的でした。発表後は「緊張して失敗してしまいました・・・」と自分の発表を振り返りましたが、大きな本番を終えて安心した笑顔を見せてくれました。



参観した生徒会役員は、「花歩先輩の発表を聞いて、自分も中学校生活の中で判断力と責任感を高め、『自立』しなければと思いました」「言葉についての発表が多く、改めて言葉の力について考えさせられました」と話し、多くのことを学んだようです。来年度も伊藤学園から個性あふれる主張者が出てくれることを期待します。(伊藤学園生徒会担当教諭 渡邊志帆 記)

伊藤学園 『落葉清掃とミニ講演会』

12月1日(土)北風が身にしみる寒さの中、児童生徒・PTA総勢210名が参加し、校庭・校舎周辺・西大井駅周辺に別れ、袋いっぱい落葉を拾い集めました。その後学校で、区清掃職員によるミニ講演会が行われました。スケルトンゴミ収集車にゴミがどのように入っていくか見学・体験しました。また、品川区のゴミがどう回収され、処理されていくかを聞き、ゴミの分別ゲームをしながらリサイクルやゴミの減量の大切さを学びました。(阿部 記)



伊藤小 『落ち葉掃き』

伊藤小学校では、各学年から5・6人ずつ集まり、12のたてわり班を作っています。毎月1回6年生が考えたゲームで遊んだり、一緒に給食を食べたりしています。11月のたてわり班活動は、校庭の落ち葉はきでした。ほうきやちりとりなどの道具を5・6年生が使い、低学年の子どもたちに声をかけながら進めました。4月から一緒に遊んでいる子どもたちですので、同じ班の仲間となごやかに活動することができました。(伊藤小学校教諭 増田千春 記)